Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科
科目名称	ボランティア実践Ⅰ			授業形態	講義・演習

科目コード	534119	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験担当教員	○	Active･L	○
担当教員名	海野　るみ							ICT活用	○

授業概要	この授業は、"ボランティア・マインド"（自発的に物事を考えて行動・実践する心の持ち方）を身につけ、社会的な課題に取り組めるような活動や実践を構想・企画・運営する力を養うことを目的としています。 1年間を通じて行う授業では、ボランティアの概念や歴史的背景の理論や知識をしっかりと踏まえた上で、実践を行うために必要な考え方や心構えなどを、学生同士のディスカッションやグループワークを通して学びます。さらに、実際にボランティア活動を行う経験を積みながら、様々な人とのコミュニケーションの取り方や仲間たちとのチームワーク、さらには社会的課題に実践的に取り組む方法などを学びます。 この授業は、本学の近隣地域の自治会と協働して、防災、美化等に関連した種々のボランティア活動を行ったり、児童館と連携した行事を行ったりしています。また学内外でのボランティア活動の企画運営にもチャレンジします。 年間を通して、学内で学び働く様々な方々や近隣地域の方々と触れ合うことで、一回限りのボランティア活動では実現できない、より深い学びと理解が可能となります。また身近な問題に向き合って、周りの人たちと連携し実践する力を身に着けることで、社会の一員として自分にできること、やってみたいことが明確になるでしょう。
関連する科目	文章表現の基礎Ⅰ＆Ⅱ、プレゼンテーション概論、プレゼンテーション技法、ホスピタリティ論、異文化理解、異文化コミュニケーション論、Basic English、Listening & Speaking、地域貢献プロジェクト
授業の方法と進め方	授業は、理論や知識を学ぶ時間（いわゆる「座学」の時間）とアクティビティを中心にした時間とで構成されます。アクティブ・ラーニングや課題解決型のPBLの時間をふんだんに取り入れ、さらには学生自身が自主的・自発的に考えて行動・活動する機会や時間が多くあります。いわば、教員はファシリテータとして授業の時間と空間、環境を提供し、授業中は学生も教員も主体的に、自発的に、自由に考えて行動する力を共に磨いていきます。 教員＝ファシリテータに加えて、近隣の地域の方々や児童館の職員の皆さんなど、社会で活躍する方々と直接会って身近にお話しできる機会を提供する授業です。様々な職種や立場の方々をゲストスピーカーに迎えたり、一緒に活動する機会をいただくことを通して、多様化する地域社会の問題に取り組む姿勢を身に着けられます。同時に、受講生が自身のキャリアパスを考える際の一助になることも期待しています。
授業の達成目標	・ボランティアの概念、歴史的背景を理解する ・ボランティア・マインドを醸成する ・自発的、主体的に考え、行動して、ボランティア活動の企画運営ができる ・多様な人々とのコミュニケーションができるようになる ・意見の異なる仲間とも協力して活動できるようになる ・地域社会や広い社会の課題を理解し、広い視野から解決の道筋を考えようとする態度を身につける
学位授与方針(DP)との関連	
授業時間外学習【予習】	・理論や知識を学んだ授業後は、しっかりと復習をして理解できるようにしてください。 ・実践に向けての準備期間は、授業外での準備も必要となる場合があります。グループの仲間と協力してしっかり準備してください。 ・学外で行われる多様なボランティア活動にアンテナを張って、可能な限り自発的に参加するようにしてください。
授業時間外学【復習】	課題の提出などを通して、授業で得た知識や実践を通して得た手法や技法を確認してください。
課題に対するフィードバック	適宜フィードバックを行います。
評価方法・基準	理論と実践の組合せによって内容の知的理解と実践的理解を行えるシラバスになっていますので、基礎的な知識を学ばないまま実践の場で活動することは避けてください。その意味で、評価は理論＋実践をセットとして行います。 したがって、通常の講義等とは異なり、2/3以上の出席率であっても、最終的に単位を付与できない場合がありますので気をつけてください。 最終評価は、以下の基準で行います。 ・知識の習得と実践による活動への意欲や自発的態度　40% ・課題提出　20% ・最終報告会での成果報告　30% ・自発的な学内外でのボランティア活動の企画・運営等　10%
テキスト	指定しません
参考書	必要に応じて授業時に提示します。
備考	自発的な態度や意欲、自ら企画し運営する姿勢と方法を学ぶ時間です。 積極的に知識を学び、実践に参加し、視野を広げて活動するよう心掛けましょう。 何より、チームワークがボランティア活動の"肝"です。 コミュニケーション力を磨いて、仲間たちと共に活動できる感覚も身につけましょう。

	また、この授業以外の授業で学んだ考え方や方法論、経験し理解したことが全て、ボランティア実践につながると考えてください。 どの科目も、それだけで独立して存在しているわけではなく、他の様々な学びと結びついてこそ、あなたの成長を支えるのです。 どうかそのことを忘れずに、あなたの中に蓄積された知識や知見を、ボランティア実践で存分に発揮してください！期待しています。